

千代田区図書館評議会 令和4年度図書館運営に対する評価シート

評価項目	① 千代田ゲートウェイ	総合評価	
------	-------------	------	--

〈取り組み項目〉

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 区立図書館ホームページ・SNS等による広報活動 | 2 地域情報の収集・提供 |
| 3 区立図書館情報誌の発行 | 4 区の歴史・文化・芸術などに関する様々なテーマのセミナー・イベント、展示等の開催 |
| 5 本の街神保町や区内の大学・文化施設等との連携 | |

※図書館表記／千：千代田、日：日比谷、四：四番町、昌：昌平、神：神田、共：共通

指標		元年度実績	3年度実績	4年度実績	対元年度比(%)	対3年度比(%)	実施状況等
ニュースリリースの発信回数	千	10	7	10	100.0	142.9	コロナ禍が落ち着きを見せ始めて以降、イベントの企画・実施や外部との連携が可能となり、各種情報発信は徐々に回復しつつあります。
	日	26	26	32	123.1	123.1	
取材対応件数	千	26	32	28	107.7	87.5	・ニュースリリースの発信回数は、千代田、日比谷ともに過去の回数まで回復しています。
	日	93	79	105	112.9	132.9	
メディア露出件数	千	107	59	62	57.9	105.1	・取材対応件数は、千代田は前年度を下回っていますが、岩波ホールの閉鎖に伴う展示では大きな話題となり、令和元年度を上回る実績です。また、日比谷は対前年度、対元年度をともに上回っています。
	日	160	93	128	80.0	137.6	
1 ホームページアクセス回数	共	1,827,640	1,454,655	1,527,115	83.6	105.0	・メディア露出、ホームページ、ちよびたブログアクセス数は、対前年度を上回っているものの、対元年度の実績とは差が出ています。
ちよびたブログアクセス回数	千	19,135	14,772	15,789	82.5	106.9	
Facebook・Twitter・LINE・YouTubeでの情報発信回数	千	110	66	119	108.2	180.3	・Facebook、Twitter、LINE、YouTubeの情報発信回数は、千代田は千代田区公式LINEへの投稿を始めて、元年度の実績を上回りました。日比谷は日比谷カレッジ講師等、外部発信の投稿をシェアしたため、3年度から大きく伸びています。
	日	179	728	662	369.8	90.9	
メールマガジンの配信回数 (区内教育施設等への配信を除く)	千	13	20	16	123.1	80.0	・メールマガジンの登録者数の減少は、貸出券有効期限2年間＋猶予期間1年間＝計3年間の登録保持期間から、システムリリース時に猶予期間の1年間を廃止したため、その休眠登録者の分が減りました。
	日	12	11	12	100.0	109.1	
メールマガジン登録者数(3月時点)		2,604	2,625	1,951	74.9	74.3	
2 図書館内での区内情報発信回数 (SNS等による発信を除く)	千	10	12	12	120.0	100.0	図書館内での区内情報発信回数は順調な推移を見せています。
	日	21	39	38	181.0	97.4	
3 図書館情報誌・広報誌の発行回数	千	4	4	4	100.0	100.0	図書館情報誌・広報誌の発行回数は、年度計画に沿った実績となっています。
	日	12	12	12	100.0	100.0	
4 企画展示(ウォール展示)回数	千	4	4	5	125.0	125.0	企画展示(ウォール展示)回数が年度計画を上回ったのは、岩波ホールの閉鎖が発表され、急遽1か月の展示を追加したためです。企画展示関連セミナー・イベントを実施できていませんが、施設上の制約が響いており、今後の展開は日比谷での実施が妥当だと考えています。
企画展示資料貸出数	千	2,407	2,146	3,363	139.7	156.7	
企画展示関連セミナー・イベント回数	千	1	0	0	0.0	-	
5 区内関係施設(区内大学、博物館等)との連携企画数	千	6	10	11	183.3	110.0	区内関係施設(区内大学、博物館等)との連携企画数は年々拡大しつつあります。また、地域産業との連携企画数は、過去においては古書店連盟との連携で月毎に展示を行っていましたが、全古書店を2巡し、現在は年1、2回程度となっているのが影響しています。
	日	4	3	6	150.0	200.0	
	地域産業との連携企画数	千	11	7	6	54.5	

〈指定管理者による自己評価〉		評価項目全体の評価	b
	各項目の評価	各項目の自己評価	
1	a	千代田区立図書館のニュースリリースは、千代田ゲートウェイの中核の業務であり、特長でもあります。日常的にメディアに情報を提供することで社会への情報発信を広げています。また、時代の流れとともに今後もデジタルツールの活用を強化していく予定です。	
2	b	図書館内での区内情報発信は適宜行っており、区内情報が多ければ数値は伸びますが、今後については大きな変化はないものと予測しています。	
3	b	図書館情報誌・広報誌の発行は、今後も年度計画に沿って行っていきます。	
4	a	読書振興は図書館の大きな使命だと考えております。利用者の知的好奇心を呼び起こす仕掛けとして、ウォール展示は、さまざまな分野の資料で、さまざまな角度から焦点を当て展開しており、他館では生み出せないクオリティを実現していると自負しています。	
5	b	区立図書館であることを踏まえ、区内関係施設（区内大学、博物館等）との連携企画を年々拡大しています。今後も関係施設からの要望にも応えつつ、クオリティの維持に努めたいと考えています。	
評価項目全体の自己評価		千代田ゲートウェイは、千代田区立図書館が千代田区を中心としたさまざまな情報を主体的に発信するというコンセプトです。日常的に各種メディアに情報を提供し、他では見られない頻度で多くの企画、イベントが一般に伝達されています。しかし、千代田図書館がリニューアルしてから16年が経過して、社会全体のデジタル化が進み、メディア媒体の変化が進んでいます。図書館が主体的に情報を提供するという姿勢をそのままに、新たなメディア媒体の活用と取捨選択が求められていると感じています。そのためには、新たな社会に適応した図書館自らのデジタル化が必要な時期ではないかと考えます。	

〈評議会委員の評価〉	

千代田区図書館評議会 令和4年度図書館運営に対する評価シート

評価項目	② ビジネスを発想するセカンドオフィス	総合評価	
------	---------------------	------	--

〈取り組み項目〉

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1 ビジネス関連資料の整備 | 2 ビジネスパーソンをターゲットにしたイベント等の開催 |
| 3 商用オンラインデータベース提供 | 4 電源付閲覧席・インターネット利用環境等の整備 |
| 5 貸室の提供による交流支援 | |

※図書館表記/千：千代田、日：日比谷、四：四番町、昌：昌平、神：神田、共：共通

指標	※	元年度 実績	3年度 実績	4年度 実績	対元年度 比(%)	対3年度 比(%)	実施状況等	
1 ビジネス関連資料の満足度 (%) (利用者アンケート結果平均)	千	84.4	83.2	84.5	100.1	101.6	日比谷は大きく伸ばしています。千代田は横ばいの実績ですが、一部貸出禁止の影響が大きいと考えており、解除を望む利用者の声もあります。千代田の「ブックピネガー」との連携によるビジネス書紹介リーフレットはVo.12まで進み、2,400冊を超える配布数となっています。	
	日	84.2	85.1	92.9	110.3	109.2		
2 日比谷カレッジ企画数	日	114	61	67	58.8	109.8	コロナ禍により、企画数と座席数を制限していたため令和元年度比では低い実績となっていますが、年度の事業計画に応じたものとなっています。また、実施できた企画については高い満足度をいただいています。令和5年5月以降はすべての制限が解除となっています。	
	日	91.7	91.3	92.6	101.0	101.4		
3 データベース利用件数	千	4,366	3,673	3,381	77.4	92.1	・千代田は微減、日比谷が回復傾向という実績となっています。けれども千代田の利用件数は日比谷の倍近い実績となっています。両館ともに、利用満足度が特に低い実績とは言えないため、今後も同様な数値で推移するものと考えています。 ・日比谷のデータベース講習会は、新型コロナの感染状況の見通しが難しく、講師側の対外活動自粛の都合もあり、実施を見送りました。	
	日	2,339	1,466	1,706	72.9	116.4		
	データベース利用満足度 (%) (利用者アンケート結果平均)	千	88.3	88.3	87.4	98.9		99.0
		日	91.2	86.7	91.5	100.3		105.5
データベース講習会の実施回数	日	2	0	0	0.0	-		
4 キャレル席・電源付閲覧席の利用件数	千	23,637	11,516	18,313	77.5	159.0	キャレル席・電源付閲覧席の利用は、コロナ禍による入館者数の減少からの緩やかな回復に比して、急激な回復を見せる実績となっています。回復した利用者の多くがキャレル席・電源付閲覧席を利用しているということになります。最新の図書館では電源付閲覧席は当たり前となっています。一方インターネット席利用件数は入館者数の増加傾向に近い推移です。図書館利用者の多くが、自分のPCやタブレット・スマホを活用する一つの現れだと感じています。	
	日	26,173	12,489	22,622	86.4	181.1		
	インターネット席利用件数	千	9,394	3,715	3,953	42.1		106.4
		日	4,592	2,307	2,594	56.5		112.4
5 特別研究席の利用件数	日	7,110	1,824	2,712	38.1	148.7	特別研究席の利用件数は伸び悩んでいますが、コロナ禍に利用2時間までの在室制限を設けていたことが影響し、令和3年度10月には制限を解除したものの、回復が遅れています。貸室稼働率は、千代田、日比谷ともに、順調な回復傾向を見せています。	
	貸室稼働率 (%) (研修室・会議室・ホール)	千	71.3	43.6	53.1	74.5		121.7
		日	58.1	27.4	49.2	84.7		179.3

(注)無線LANの提供は、区で契約し千代田図書館・日比谷図書文化館について提供している。

〈指定管理者による自己評価〉		評価項目全体の評価	b
	各項目の評価	各項目の自己評価	
1	b	千代田では、今年度から一部ビジネス雑誌のバックナンバーを貸し出せるように変更しましたが、貸出への要求は日比谷ともども一定数はあると考えています。基本的に、「いつでも図書館で読める状態にしておく」という考え方とは相容れません。今後は書架の充実と、利用者へ良書を紹介していくことを目標にしていきたいと考えています。	
2	b	日比谷の中核事業の一つとしての日比谷カレッジは、コロナ禍の影響をまともに受けましたが、その間可能な範囲で企画、実施し、相応の実績を残せたと自負しています。令和5年5月以降は制限のすべてが解除されたため、コロナ禍以前の実績に戻せると確信しています。	
3	b	図書館のデータベースの内容は「新聞社系データベース」「雑誌・論文・記事」「経済・ビジネスコンテンツ」「行政・法律関係データベース」「辞典系データベース」となりますが、利用者は限定的であり、今後大きな変動なく推移すると考えています。日比谷のデータベース講習会は令和5年度に実施予定です。	
4	b	現在の図書館では電源付閲覧席は常識です。総務省のデータではモバイル端末の普及率が令和3年には97.3%となっており、外出時に電源の有無は滞在場所の選択に少なからず影響します。そのような社会環境に合わせた対応が必要であると考えています。	
5	b	日比谷の特別研究席はその性格上「適度に利用される」ことが理想です。10年をかけて認知度を高めてきたもののコロナ禍の影響で離れた利用者は少なくないと考えています。改めて学術研究や論文制作などに携わる方々への告知を行います。貸室稼働率は今後も確実な回復を目指します。	
評価項目全体の自己評価		「セカンドオフィス」という言葉は今では一般的ですが、千代田区立図書館が初めて使用しその意味を解説してきました。図書館は本を借りる施設という金太郎飴のイメージを、日本の中心というロケーションが故に、「滞在型図書館」という空間を実現させました。しかし、新千代田図書館としてリニューアルして16年を経過し、新たな社会環境に沿った図書館の機能が求められていると感じています。これまでのビジネスを発想するセカンドオフィスについては平均以上の運営を行っていると思自していますが、今後さらに新しい機能の発揮に取り組む必要があるとも考えています。	

〈評議会委員の評価〉	

千代田区図書館評議会 令和4年度図書館運営に対する評価シート

評価項目	③ 区民の書齋	総合評価	
------	---------	------	--

〈取り組み項目〉

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1 資料の収集・管理 | 2 中高生向け資料の収集、読書環境の整備 |
| 3 レファレンスサービス・読書相談の受付（資料探しのお手伝い） | 4 障害者サービス(郵送貸出、拡大読書器の設置等)の提供 |
| 5 電子書籍、音楽配信サービス等デジタルコンテンツの提供 | |

※図書館表記/千：千代田、日：日比谷、四：四番町、昌：昌平、神：神田、共：共通、住：在住、学：在学、動：在勤、外：区外

指標	※	元年度 実績	3年度 実績	4年度 実績	対元年度 比(%)	対3年度 比(%)	実施状況等
資料の貸出数 (電子書籍を除く)	住	379,145	364,923	414,834	109.4	113.7	・資料貸出数はコロナ禍の影響で減少はしたものの他項目ほどではなく、区民の実績は、区民の予約受付件数の上限を5冊から10冊へ拡大するなどの利用環境の整備により、既に過去を上回っています。在学、在勤、一般利用者の貸出数は確実な回復傾向にあります。
	学	13,351	4,995	6,739	50.5	134.9	
	動	247,531	147,096	164,880	66.6	112.1	
	外	245,459	160,095	181,100	73.8	113.1	
相互貸借利用件数(借用)	共	3,640	2,716	2,702	74.2	99.5	・相互貸借利用は大きな変動は出ていません。
相互貸借利用件数(貸出)	共	2,628	2,627	2,171	82.6	82.6	・利用者満足度は各館ともに目標の90%を超える実績となっています。特に仮施設移転後に低迷しがちだった四番町が目標をクリアしたのは職員の努力の賜物だと自負しています。
利用者満足度(%) (利用者アンケート結果 千代田・日比谷は平均)	千	95.7	95.7	95.8	100.1	100.2	・蔵書満足度については、千代田と日比谷では前年度と逆転した実績となっています。千代田の場合、日比谷と比較しても収蔵数に限界があるため、目的の資料が見当たらないというケースが発生しがちです。
	日	96.2	92.8	98.4	102.3	106.1	
	四	-	87.9	90.5	-	103.0	
	昌	94.5	96.2	96.9	102.5	100.7	
	神	95.9	94.0	98.0	102.2	104.3	
蔵書満足度(%) (利用者アンケート結果平均)	千	83.1	90.0	85.3	102.6	94.8	・コロナ禍で在学、在勤、一般の利用者数が減ったため、区民の登録率は高くなる傾向でしたが、在学、在勤、一般の利用者が戻るとともに区民登録率は相対的に下がっています。
	日	85.3	87.4	90.7	106.3	103.8	
区民登録率(%) (区の人口に占める区民登録者の割合)		17.0	26.3	18.0	105.9	68.4	
中高生向け図書展示回数	千	4	4	4	100.0	100.0	・中高生向け図書展示は事業計画どおり実施しました。
	四	5	12	12	240.0	100.0	
	千	-	91.1	87.7	-	96.3	
中高生席の利用満足度(%) (利用者アンケート結果平均)	千	-	91.1	87.7	-	96.3	・中高生席の利用満足度は、前回初めて90%を超えましたが、今回は若干下がったものの特に目立った意見や要望はない状況です。
レファレンス・読書相談件数	千	5,431	4,721	4,712	86.8	99.8	・レファレンス・読書相談件数はコロナ禍で電話やメールの問い合わせが増えており、他項目ほどの落ち込みは見せていません。日比谷は書架の案内のような単純な質問を削除した結果の数値です。
	日	7,276	3,985	2,073	28.5	52.0	
パスファインダー作成・更新件数	千	2	3	3	150.0	100.0	・パスファインダーは、千代田は事業計画どおり、日比谷は集中して更新を行った結果の数値となっています。
	日	2	28	14	700.0	50.0	
郵送貸出件数(デジター図書含まず)	共	65	94	82	126.2	87.2	郵送貸出件数は、コロナ禍により外出を危惧した影響で3年度には増えましたが、人流の回復により落ち着きつつあります。
点字資料・大活字本・デジター図書等蔵書数	共	2,050	2,785	2,566	125.2	92.1	
点字資料・大活字本・デジター図書等貸出数	共	-	-	1,106	-	-	
千代田Web図書館貸出件数		9,124	22,150	19,638	215.2	88.7	・Web図書館貸出数は前年度には及ばないものの高い実績を維持しています。所蔵タイトル数が10,000を超え、発行される資料も多様化しつつありますが、一般の資料のレベルにはほど遠く、満足度の実績は低下しています。
千代田Web図書館・ナクソス満足度(%) (利用者アンケート結果平均)		-	92.6	89.6	-	96.8	
千代田Web図書館所蔵タイトル数		8,323	9,258	10,627	127.7	114.8	
音楽配信サービス(ナクソス)利用件数		66,118	65,839	62,002	93.8	94.2	

〈指定管理者による自己評価〉		評価項目全体の評価	b
	各項目の評価	各項目の自己評価	
1	b	利用者満足度90%を5館全てクリアしたことは、利用者の評価を頂いているという意味で安心しています。しかし、まだコロナ禍を引きずる時期であり、あらゆる制限がなくなって、多くの項目で数値が回復してからの、本当の意味で新たな出発点となると意識しています。	
2	b	中高校生席については、ふざけている、騒がしい、という声も一部あり、適宜相応の対応が求められます。	
3	b	レファレンス・読書相談は図書館業務の中核です。件数を消化しつつ、職員のスキル向上を目指しています。また、パスファインダーについては、作成、更新したものを有効活用してもらうため、利用者にとり伝えていくのが課題だと考えています。	
4	b	コロナ禍の影響で3年度に増えた郵送貸出件数は落ち着きつつありますが、できる限り図書館へ足を運んで頂きたいという意味では、適正な傾向かと思えます。	
5	b	Web図書館の利用者満足度は下がったものの決して低い数値ではありません。コロナ禍で注目されたことを一過性に終わらせることのないよう、我が国の導入第1号の公立図書館として継続した充実を図りたいと考えています。また、ナクソスの告知も継続して行っていく必要があると考えています。	
評価項目全体の自己評価		図書館の主業務である、資料を収集、分類、保管し、利用者へ提供し、利用相談に応ずるための運営項目である「区民の書齋」において、どの項目についても平均以上の実績を残せたと考えています。しかし、限られた収蔵能力の中でいかに利用者が望む資料を用意できるか、利用者が望む資料をいかに迅速に提供できるか、新たなデジタル資料をどう押し広げていけるか、といった課題も存在しています。今後もこれらについて思案を巡らせていく必要があると考えています。	

〈評議会委員の評価〉	

千代田区図書館評議会 令和4年度図書館運営に対する評価シート

評価項目	④ クリエイトする書庫	総合評価	
------	-------------	------	--

〈取り組み項目〉

- 1 古書販売目録、内務省委託本、一橋・駿河台図書館業務資料、内田嘉吉文庫等の活用
 2 特別研究室の利用促進 3 特別展・特別展関連イベントの実施 4 一般図書展示

※図書館表記/千：千代田、日：日比谷、四：四番町、昌：昌平、神：神田、共：共通

指標	※	元年度 実績	3年度 実績	4年度 実績	対元年度 比(%)	対3年度 比(%)	実施状況等	
1	古書販売目録、内務省委託本、一橋・駿河台図書館業務資料の調査・研究件数	千	5	2	1	20.0	50.0	・千代田で収蔵している内務省委託本は、研究を依頼している研究会参加者の動静を調整しながらの開催となっています。研究成果をまとめて出版することを目標としていますが、進行は遅れ気味です。 ・地域資料は、閉架での収蔵が困難になったため、前年度から今年度にかけて、寄贈を受けられない時期があり、実態ではもう少し高い数値となった可能性があります。
	内務省委託本、一橋・駿河台図書館業務資料の研究結果の発表件数	千	0	1	1	-	100.0	
	地域資料の受入件数	共	289	195	239	82.7	122.6	
2	特別研究室モーニングセミナーの開催回数	日	41	24	10	24.4	41.7	・主に内田嘉吉文庫に関連したテーマを選んで有志が参加するモーニングセミナーは400回を超え、専門家並みのレベルまで到達しています。リモート開催も実施していますが、開催方法については新たな方針が必要となっています。 ・特別研究室への入室者数は徐々に回復していますが、研究席の利用も含め、時間をかけた対応が必要だと思われます。
	特別研究室企画展示回数	日	4	4	4	100.0	100.0	
	特別研究室入室者数	日	11,968	4,211	6,275	52.4	149.0	
3	特別展入場者数（平均）	日	7,861	4,095	3,969	50.5	96.9	・日比谷の特別展は前年度と同じくらいの入場者数でした。運営上の問題も発生せず、入場者の満足度も高い結果を見ることができ安心しています。 ・特別展示関連講座は4回実施し、満足度も高く好評をいただいています。
	特別展満足度（%） （入場者アンケート結果平均）	日	95.3	94.9	97.8	102.6	103.1	
	特別展示関連講座実施回数	日	3	5	4	133.3	80.0	
	特別展示関連講座満足度（%） （講座参加者アンケート結果平均）	日	91.3	93.4	99.3	108.8	106.3	
4	一般図書展示回数	日	194	209	218	112.4	104.3	・一般図書展示回数は、事業計画に基づいて実施しており、4館ともに高い実績となっています。 ・蔵書回転率は、分母の蔵書数の大きさによって数字の意味が異なってきます。また、地域に密着した図書館と区外の在勤者や在学者等が多く利用する滞在型図書館とでも大きく異なります。特別館である日比谷と地域館である四番町、昌平、神田では利用者の目的が大きく異なるため、数値を同じ土俵で比較、判断することはできません。 例えば、千代田は蔵書数と同じ冊数が貸出されています。神田は蔵書数の実に4倍以上が貸出されています。日比谷は蔵書数の6割が貸出されており、最も滞在型としての傾向が強く、本を借りる以外の目的の利用者が多いものの、資料もある程度貸出されています。 ・日比谷カレッジで行われる講座のテーマに関連した図書フロアでの連携企画数は前年を上回っており、元年度に比べて8割回復の状況です。
		四	10	42	34	340.0	81.0	
		昌	12	11	21	175.0	190.9	
		神	6	6	7	116.7	116.7	
	蔵書回転率（%） （貸出冊数÷蔵書数）	千	137.9	98.9	105.5	76.5	106.7	
日		76.0	50.1	59.3	78.0	118.4		
四		93.4	212.7	231.7	248.1	108.9		
昌		240.7	179.5	201.6	83.8	112.3		
神	493.2	356.2	437.3	88.7	122.8			
日比谷カレッジと図書フロアの連携企画数	日	26	19	21	80.8	110.5		

〈指定管理者による自己評価〉		評価項目全体の評価	b
	各項目の評価	各項目の自己評価	
1	b	千代田の「古書販売目録」の、一部の分類、整理は終了しています。また「一橋・駿河台業務資料」は全国規模のアンケートを行って区切りをつけています。現在も「内務省委託本」の研究会が存続しており、コロナ禍で大幅に遅れたものの、再開し動き出しています。	
2	b	特別研究室の収蔵資料は千代田区の知の財産です。しかし、その貴重性とは裏腹に西欧資料の解読と内容の難解性が一般利用者の理解を阻んでいるため、有志の方々が、わかりやすいガイドを作成する準備を行っています。	
3	b	コロナ禍の影響が残る中、特別展は順調に開催、運営できました。入場者数は前年と同じくらい、関連講座も予定通り実施、入場者の満足度も高く、成功の範囲にあったと考えています。	
4	b	一般図書の展示や日比谷カレッジとの連携展示は事業計画書どおりに実施できています。蔵書の回転率は数値的な基準がないため自己評価はできませんが、5館それぞれの特徴を踏まえた結果と考えています。	
	評価項目全体の自己評価	千代田の「内務省委託本」「古書販売目録」「一橋・駿河台業務資料」及び日比谷の「内田嘉吉文庫」の研究は、他に類を見ない文化活動だと言えます。特に、日比谷の特別研究室で収蔵する資料群は、西欧の植民地政策につながる内容であるがゆえに、戦後わが国でほとんど顧みられることのない「知」を明らかにしてくれるものです。我が国のみならず西欧にとっても貴重な「知的財産」であるこれら資料群をいかに一般の利用者に伝えていけるかは千代田区立図書館の使命だと認識し、さらに研究を進めていきたいと考えています。 また、千代田区立図書館5館で行っている各種展示は、それぞれの館の特徴を踏まえつつ、企画連携によってクオリティの向上を目指しており、外部からの引き合いや展示依頼へと広がっています。	

〈評議会委員の評価〉	

千代田区図書館評議会 令和4年度図書館運営に対する評価シート

評価項目	⑤ ファミリーフィールド	総合評価	
------	--------------	------	--

〈取り組み項目〉

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 子どもと大人の読書環境の整備 | 2 児童図書展示等による読書振興 |
| 3 おはなし会、子ども・親子向けイベント等の実施 | 4 子ども読書調査の実施 |
| 5 学校等支援事業 | |

※図書館表記/千：千代田、日：日比谷、四：四番町、昌：昌平、神：神田、共：共通、小：小学生、中：中学生

指標	※	元年度 実績	3年度 実績	4年度 実績	対元年度 比(%)	対3年度 比(%)	実施状況等
1 児童資料貸出数	千	45,131	46,246	45,140	100.0	97.6	・コロナ禍にあって大きく落ち込むことがなかったのが、児童資料関連の項目です。貸出数は児童資料を扱う4館で順調な実績値となっています。仮施設に移転した四番町の児童室・赤ちゃんルーム満足度が93.1%という高い結果を得られたことは望外でした。
	四	82,757	90,204	99,521	120.3	110.3	
	昌	19,355	18,108	20,922	108.1	115.5	
	神	39,130	27,025	41,536	106.1	153.7	
児童資料満足度(%) (利用者アンケート結果平均)	千	87.3	84.0	85.2	97.5	101.4	・千代田での託児サービス利用者は前年度と同数です。 ・区内児童施設へのリサイクル本の提供は定着化していますが、十分な資料数確保が厳しくなりつつある状況です。
児童室・赤ちゃんルーム満足度(%) (利用者アンケート結果)	四	-	89.2	93.1	-	104.4	
託児サービス利用者数	千	15	21	21	140.0	100.0	
区内児童施設へのリサイクル本の提供冊数		461	316	442	95.9	139.9	
2 児童資料展示回数	千	45	33	35	77.8	106.1	・児童資料展示は事業計画に沿って実施しており、実績としては順調な数値となっています。 ・区内教育施設等への情報発信は基本月1回ですが、内容的に情報がないと回数減となります。
	四	20	29	44	220.0	151.7	
	昌	12	12	15	125.0	125.0	
	神	10	10	12	120.0	120.0	
図書館での児童向けブックリスト作成数	共	8	2	9	112.5	450.0	・ブックスタートは事業計画に沿って実施しています。
区内教育施設等への情報発信回数 (メールマガジン発信)		12	12	7	58.3	58.3	
3 おはなし会実施回数	千	11	8	12	109.1	150.0	・コロナ禍の影響を受けて開催数や定員等を自粛していたおはなし会は、ようやく通常に近い形で開催できるようになり、参加者数も順調に伸び始めています。満足度も問題はありません。
	四	39	35	47	120.5	134.3	
	神	11	1	12	109.1	1200.0	
	おはなし会参加者数	千	308	72	182	59.1	
	四	1,059	669	782	73.8	116.9	・子ども向けイベントの開催は回復基調にありますが、定員枠を若干減らして実施しています。四番町は令和2年4月の仮施設への移転で会場が狭まり、参加者数は元年度比で半減となっています。
	神	268	11	212	79.1	1927.3	
おはなし会満足度(%) (利用者アンケート結果)	四	-	100.0	100.0	-	100.0	・子ども向けイベントの開催は回復基調にありますが、定員枠を若干減らして実施しています。四番町は令和2年4月の仮施設への移転で会場が狭まり、参加者数は元年度比で半減となっています。
ブックスタート参加者数		499	559	537	107.6	96.1	
子ども向けイベント実施回数	千	4	4	7	175.0	175.0	
	四	17	5	8	47.1	160.0	
子ども向けイベント参加者数	千	239	136	139	58.2	102.2	・子ども向けイベントの開催は回復基調にありますが、定員枠を若干減らして実施しています。四番町は令和2年4月の仮施設への移転で会場が狭まり、参加者数は元年度比で半減となっています。
	四	372	177	167	44.9	94.4	
4 子ども読書調査における不読率(%) (1か月の読書冊数が0冊の子どもの割合)	小	2.1	2.7	4.2	200.0	155.6	不読率は小中ともに増加する結果となっています。図書館としては読書振興の観点からさまざまな企画を継続し、特に学校支援司書と学校との密な関係を進めます。
	中	12.7	12.5	15.8	124.4	126.4	
5 支援先での読み聞かせ・ブックトーク実施回数		1,538	1,737	2,227	144.8	128.2	事業計画に基づいて、小学校、中学校、児童館等に司書を派遣しています。読み聞かせ等の実施回数、読書相談の受付回数、ブックリスト作成数、保護者・ボランティア向けイベント回数ともに前年度を大きく上回っています。
	支援先でのレファレンス・読書相談の受付回数	933	699	1,230	131.8	176.0	
	支援先でのブックリスト作成数	65	14	29	44.6	207.1	
	支援先での保護者・ボランティア向けイベント回数	12	5	9	75.0	180.0	

〈指定管理者による自己評価〉		評価項目全体の評価	b
	各項目の評価	各項目の自己評価	
1	b	千代田は配架資料数に限界があるため、ブックトラックを活用したり団体貸出用セットを追加で用意したりする工夫をしながら資料数の不足を補う努力を続けています。四番町は移転に伴うさまざまな不足を展示の工夫やイベント開催等で補っています。小学校併設の昌平、神田は限られた空間を工夫しながら運営を行い、コロナ禍以前の状態に近い状況に至っています。	
2	b	児童資料の展示、ブックリストの作成は事業計画に基づき実施しています。	
3	b	おはなし会をはじめとする児童向けイベントは再開後順調な推移を見せています。	
4	b	不読率の上昇は複合的な要因があると考えますが、コロナ禍が一段落して児童の外出機会が増え、読書傾向が薄れた面があると感じます。数値実績の推移に評価はできませんが、東京都の調査でも不読率は上昇傾向にあります。	
5	b	学校や児童向け施設が通常運営となる中、支援司書による活動も順調に再開し、令和元年度を上回る結果も出ています。	
評価項目全体の自己評価		コロナ禍では学校、施設自体が休止し、支援司書の活動も制限されましたが、影響が薄れるにしたがって活発化しています。在宅が増えたことで児童資料の貸出は大きく落ち込むことはなかったものの、引き続き順調な実績値となりました。また、各種展示、おはなし会、外部支援も同様の傾向にあります。	

〈評議会委員の評価〉	

千代田区図書館評議会 令和4年度図書館運営に対する評価シート

評価項目	⑥ 管理運営等	総合評価	
------	---------	------	--

〈取り組み項目〉

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 利用者サービスの質的向上 | 2 職員の各種スキル向上・人材育成 |
| 3 利用環境の整備、施設維持管理業務 | 4 レストラン・カフェ＆ショップの運営 |
| 5 その他総務 | |

※図書館表記/千：千代田、日：日比谷、四：四番町、昌：昌平、神：神田、共：共通

指標	※	元年度実績	3年度実績	4年度実績	対元年度比(%)	対3年度比(%)	実施状況等	
1 入館者数	千	567,791	212,741	302,006	53.2	142.0	・コロナ禍の影響が薄れ、入館者数は5館全館が前年度を上回る実績値となっています。特に日比谷での回復度は高く、5館全体で100万人を超えることができました。しかし、令和元年度の実績比では6割程度であるため、各館ともに更なる入館者数獲得を目指した機能整備や企画、イベント等のクオリティ強化が必要であると考えています。 ・新規登録者数は令和元年度比7割を超えた実績となっており、回復傾向にあることは期待を持てる要素だと考えています。	
	日	702,565	286,050	450,469	64.1	157.5		
	四	203,518	116,174	120,542	59.2	103.8		
	昌	86,897	46,535	59,832	68.9	128.6		
	神	149,561	69,058	89,506	59.8	129.6		
新規登録者数	共	23,131	12,394	16,666	72.1	134.5		
職員研修参加人数（延べ人数）	共	466	439	392	84.1	89.3		
2 職員対応満足度（%） （利用者アンケート結果 千代田・日比谷は平均）	千	96.9	95.7	93.5	96.4	97.7	・職員研修は、予定どおりに実施しており、令和5年3月に実施したシステムリリース関係の課題にあたる研修も行いました。 ・職員対応満足度は、館の運営にとって重要な指標のひとつですが、千代田で若干下がったものの、5館全体で極めて高い実績値を見ることができました。	
	日	97.8	93.8	96.7	98.9	103.1		
	四	-	98.3	99.0	-	100.7		
	昌	-	100.0	100.0	-	100.0		
	神	-	98.2	100.0	-	101.8		
合理的配慮件数 ※障害をお持ちの方のほか、LGBTQの方への合理的配慮を含む	共	493	302	288	58.4	95.4	・合理的配慮件数は、入館者数の推移に近い状況です。対応によって合理的配慮に問題がある傾向ではありません。 ・利用環境整備は、データベース席の利用時間を1日1回30分（延長1回可）から1日2回各1時間まで拡大、電源付閲覧席の増設、日比谷ではキャッシュレス決済を開始、貸室などの支払いを現金以外で決済可能にしました。また、障害者用駐車場に滑り止め加工を施した段差解消用プレートを設置して安全性を向上しました。新型コロナウイルス感染症対策は、前年度の環境を継続しました。	
利用環境整備 ※新型コロナウイルス感染症対策を含む	共	-	-	-	-	-		
4 レストラン、カフェ＆ショップ来客数	日	108,409	46,836	67,729	62.5	144.6	コロナ禍による入館者数減少に比例した実績となっています。厳しい経営状況の下、継続した運営を行っています。	
5 防災・避難訓練実施回数	千	2	3	3	150.0	100.0	・防災・避難訓練は事業計画に沿って実施しています。日比谷は前年度が例外的に多かったものの、全館とも例年とおりに実施しました。 ・視察はコロナ禍の影響を抜けて、ようやく増加し始めています。 ・区内大学からの実習生受入は、年々希望者が増えていますが、業務上支障の出ない範囲で予定どおりの人数となっています。	
	日	2	5	2	100.0	40.0		
	四	2	2	2	100.0	100.0		
	昌	1	1	1	100.0	100.0		
	神	1	1	1	100.0	100.0		
	視察対応件数	千	18	7	14	77.8		200.0
	区内大学からの実習生受入人数	千	3	3	3	100.0		100.0
	日	4	3	3	75.0	100.0		

(注)利用環境整備は、数値化して評価できるものではないため（-）としている。

〈指定管理者による自己評価〉		評価項目全体の評価	b
	各項目の評価	各項目の自己評価	
1	b	図書館評価の大きなポイントとなる入館者数は順調に回復しつつあります。しかし、過去の入館者数に戻す道は簡単とは言えません。利用者の行動パターンが変化した社会で、どんな方法で利用者増を図ることができるかを意識した運営を心がけたいと考えています。	
2	a	職員対応満足度の実績が高かったことは、運営する側の我々にとっても満足する結果となりました。	
3	b	利用環境整備は所管課である文化振興課との打合せを基本として行っています。	
4	b	コロナ禍の影響は飲食関連店舗に多大な損害を与えてきました。レストラン、カフェ&ショップは、時間短縮期間もありましたが、継続して運営しています。	
5	a	区内大学との連携は、毎年開催する大学図書館連絡会をはじめ、年々強化されています。大学からの要望も増え、大学への協力依頼もスムーズに進行しています。その成果の一つとして実習生希望も増えていると感じています。他ではなかなか見られない状況だと自負しています。	
評価項目全体の自己評価		管理・運営の肝は入館者数だと考えています。いかに利用者が求める機能を発揮し、いかに利用者の興味を惹きつけて読書振興に繋げられるかを常に意識することが大切です。その意味では、まだ道半ばの感があります。とは言っても、実績値のまとめを見ると、全般的には順調な推移を見せているのではないかと考えています。	

〈評議会委員の評価〉	